

証券コード 6768
東京証券取引所 プライム上場

株式会社タムラ製作所

2023年3月期 第2四半期決算概要

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2022年 11月 9日

TAMURA
Your One and Only Company

本日のご説明

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想
3. 中期経営計画に基づく施策
4. まとめ

【付録】参考資料



代表取締役社長
浅田 昌弘

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

2023年3月期 第2四半期 損益計算書

- ◆ 主要顧客の堅調な需要、製品価格改定努力に加え、生産効率改善などにより増収・増益
- ◆ 四半期純利益は、営業利益改善に加え繰延税金資産の計上などにより前期比・予想比大幅増加
- ◆ 第13次中期経営計画初年度として順調な滑り出し

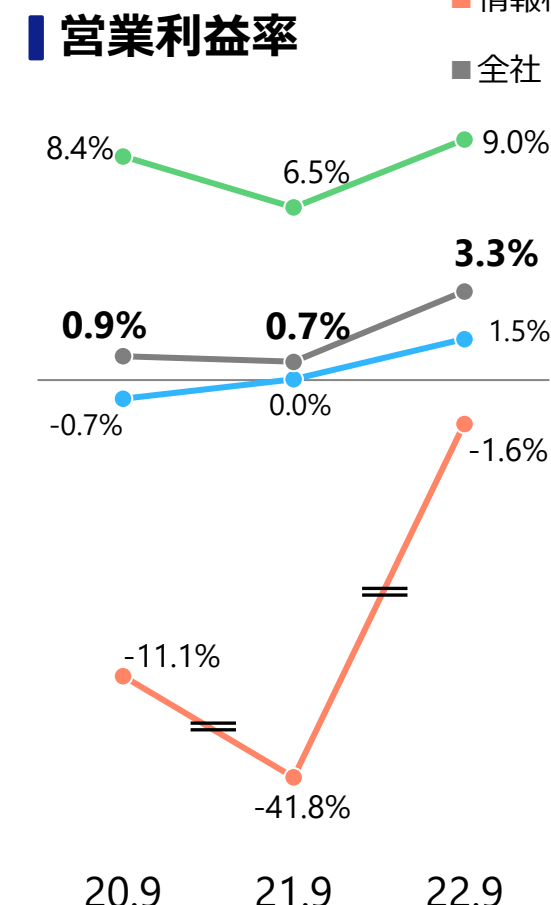
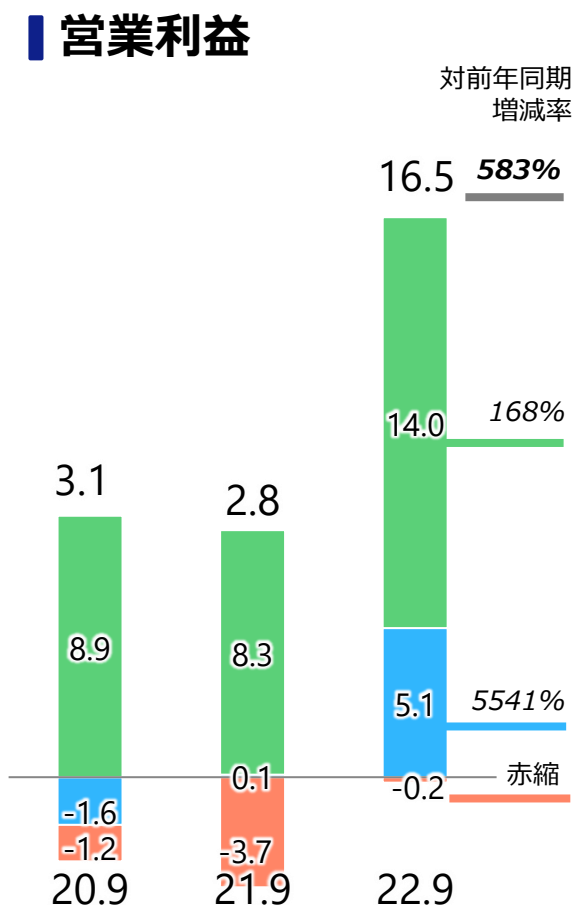
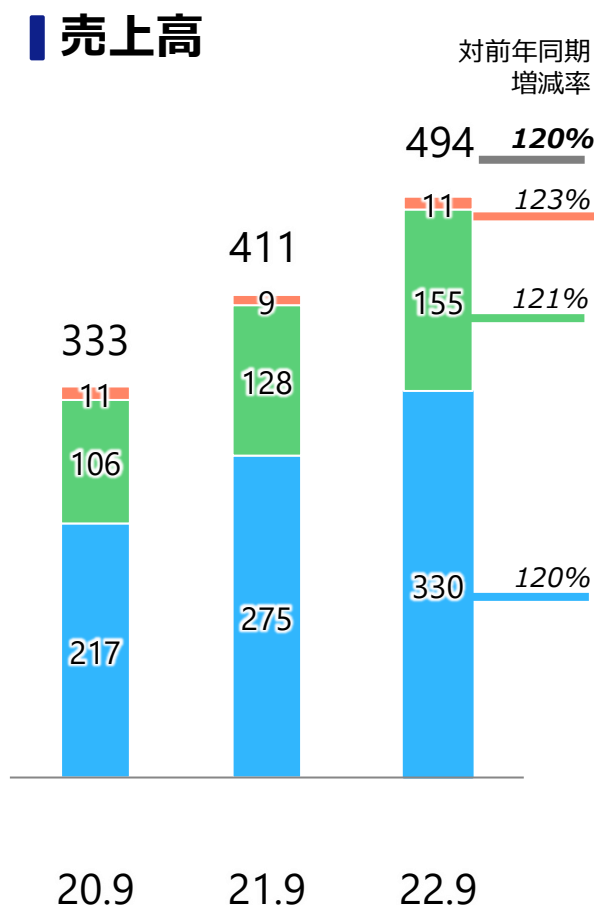
[百万円]

		22.3期2Q			23.3期2Q			23.3期2Q	
		実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	'22/5予想	構成比
売上高		41,139	100.0%	+23.5%	49,446	100.0%	+20.2%	45,600	100.0%
	売上原価	30,851	75.0%	+30.4%	36,781	74.4%	+19.2%	-	-
	販管費	10,005	24.3%	+6.9%	11,016	22.3%	+10.1%	-	-
営業利益		282	0.7%	▲8.7%	1,648	3.3%	+482.8%	800	1.8%
経常利益		652	1.6%	+42.5%	1,313	2.7%	+101.2%	800	1.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		▲55	-	-	1,250	2.5%	-	200	0.4%
為替 (円/米ドル)	期中平均	109.01		+2.18pt	131.04		+22.03pt	営業利益増、繰延税金資産 計上(約2.7億円)など	
	期末	111.92		+6.12pt	144.81		+32.89pt		

第2四半期 事業部門別売上高・営業利益

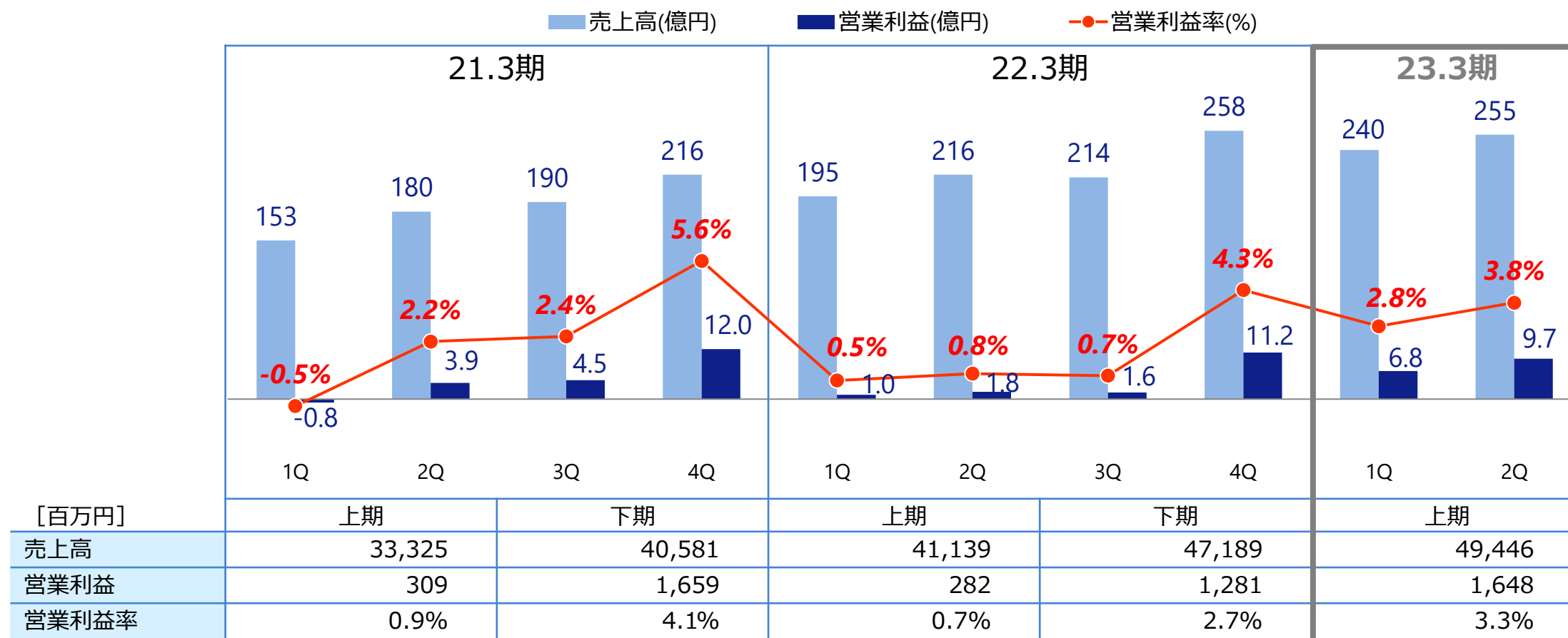
◆ 電子部品および電子化学実装は大幅に増収・増益。情報機器も赤字縮小

■ 電子部品関連
■ 電子化学実装関連
■ 情報機器関連
■ 全社



第2四半期 売上高・営業利益（四半期推移）

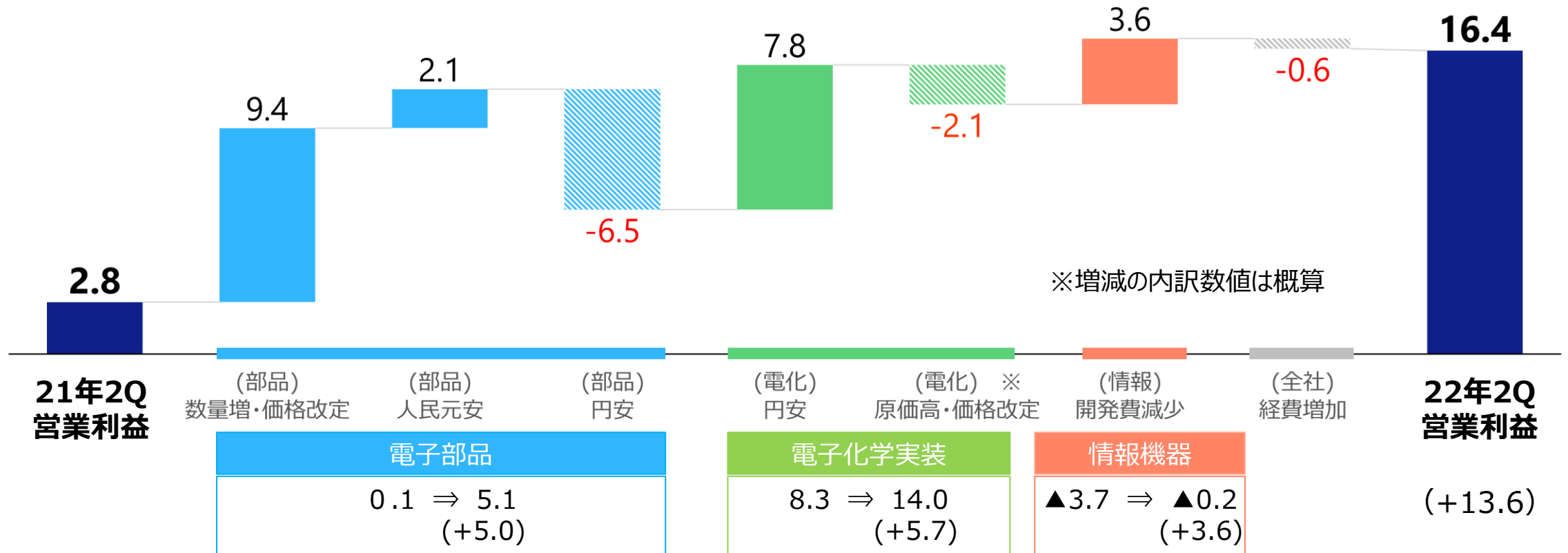
- ◆ 1Qに続き、2Qも四半期売上高が過去最高を記録
- ◆ 2Qは一部事業で上海ロックダウンの影響を受けたものの、全体では前期比増収増益基調を継続



第2四半期 営業利益 対前年同期増減（為替要因を中心とした分析）

◆ 円安は電子部品にマイナス、電子化学実装にプラスに影響したが、全社への影響は軽微

[億円]

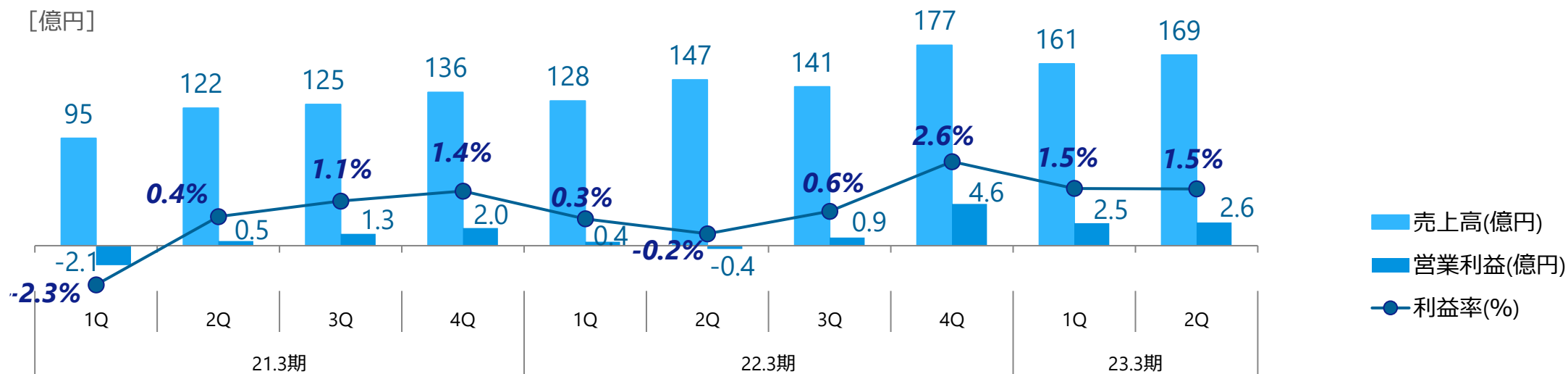
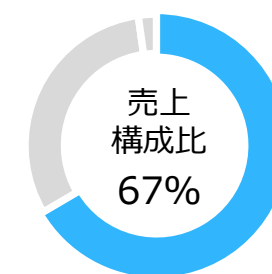


※ 電子化学実装では、ソルダーペーストの主材料である錫価格が昨年3月から本年5月まで急上昇。価格改定により収益性は改善方向にあるが戻し切れていない。

【事業部門別】電子部品関連事業 実績

- ◆ 好調な売上が継続。製品価格改定努力や生産改善により収益性も改善
- ◆ 上海ロックダウンや円安がマイナス要因となるも、人民元安がプラス寄与し、2Qも1Q並みの利益を確保

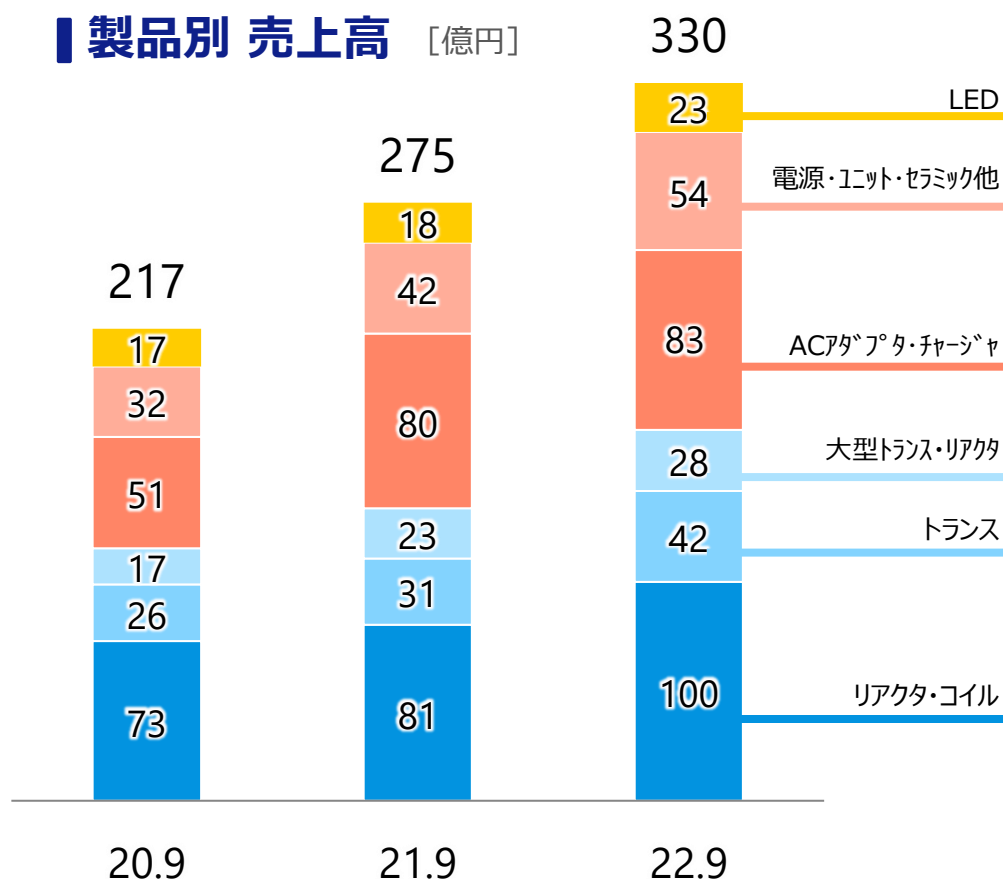
[百万円]	22.3期2Q		23.3期2Q		23.3期2Q 期初予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	27,470	+26.7%	32,978	+20.0%	30,100
営業利益	9	—	507	約55倍	100
営業利益率	0.0%	+0.8pt	1.5%	+1.5pt	0.3%



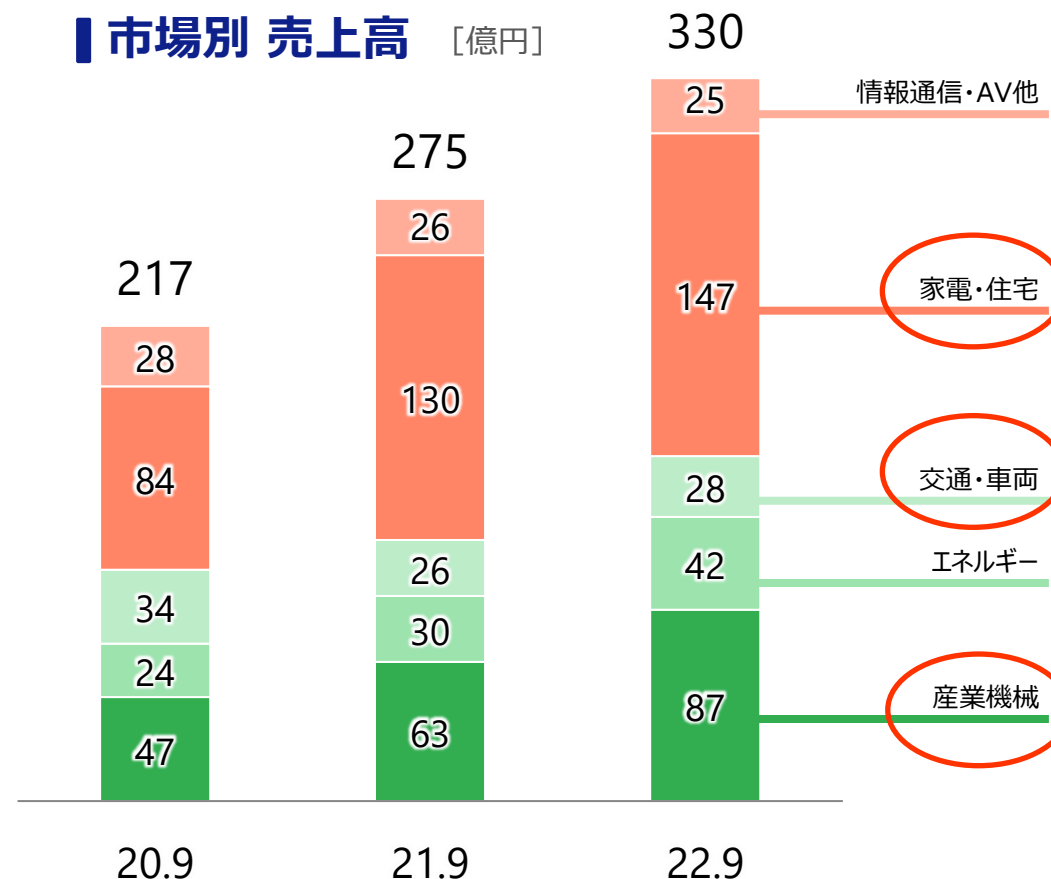
【事業部門別】電子部品関連事業 製品別・市場別売上実績

- ◆ 産業機械向けトランス・リアクタ、エアコン向けリアクタ、電動工具向けチャージャが増収をけん引
- ◆ 車載用リアクタは、半導体不足による顧客の減産が響き伸び悩む
- ◆ 自動販売機用LEDボタンは、顧客の設備投資回復でコロナ前レベルに回復

■ 製品別 売上高 [億円]



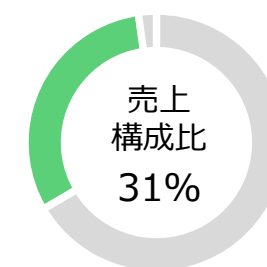
■ 市場別 売上高 [億円]



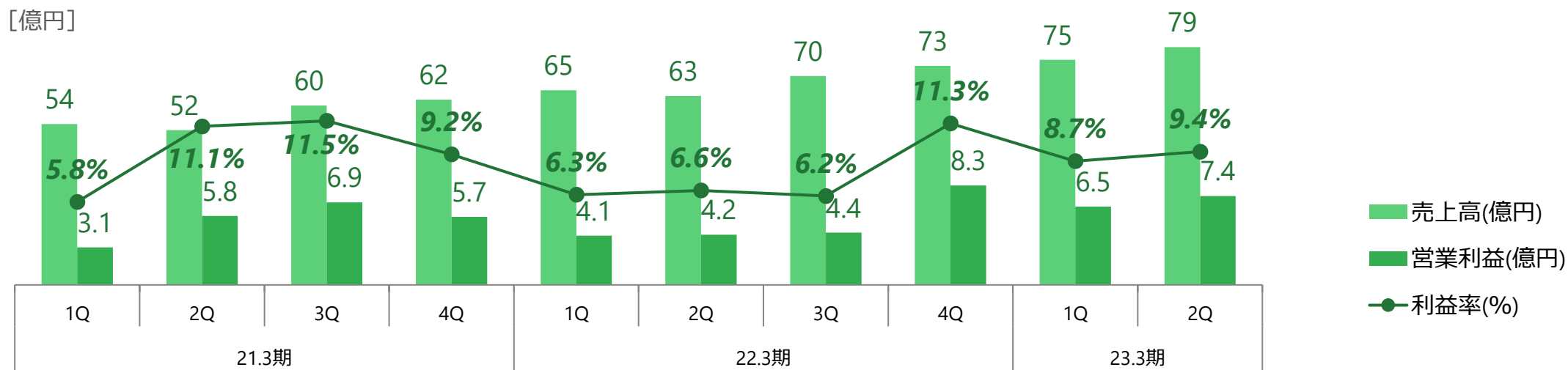
【事業部門別】電子化学実装関連事業 実績

◆ 堅調な solder パステル需要、原材料コストの販売価格への反映、円安等により増収増益基調が継続

[百万円]	22.3期2Q		23.3期2Q		23.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	期初予想
売上高	12,819	+21.5%	15,472	+20.7%	14,600
営業利益	831	▲6.6%	1,397	+68.1%	1,100
営業利益率	6.5%	▲1.9pt	9.0%	+2.5pt	7.5%

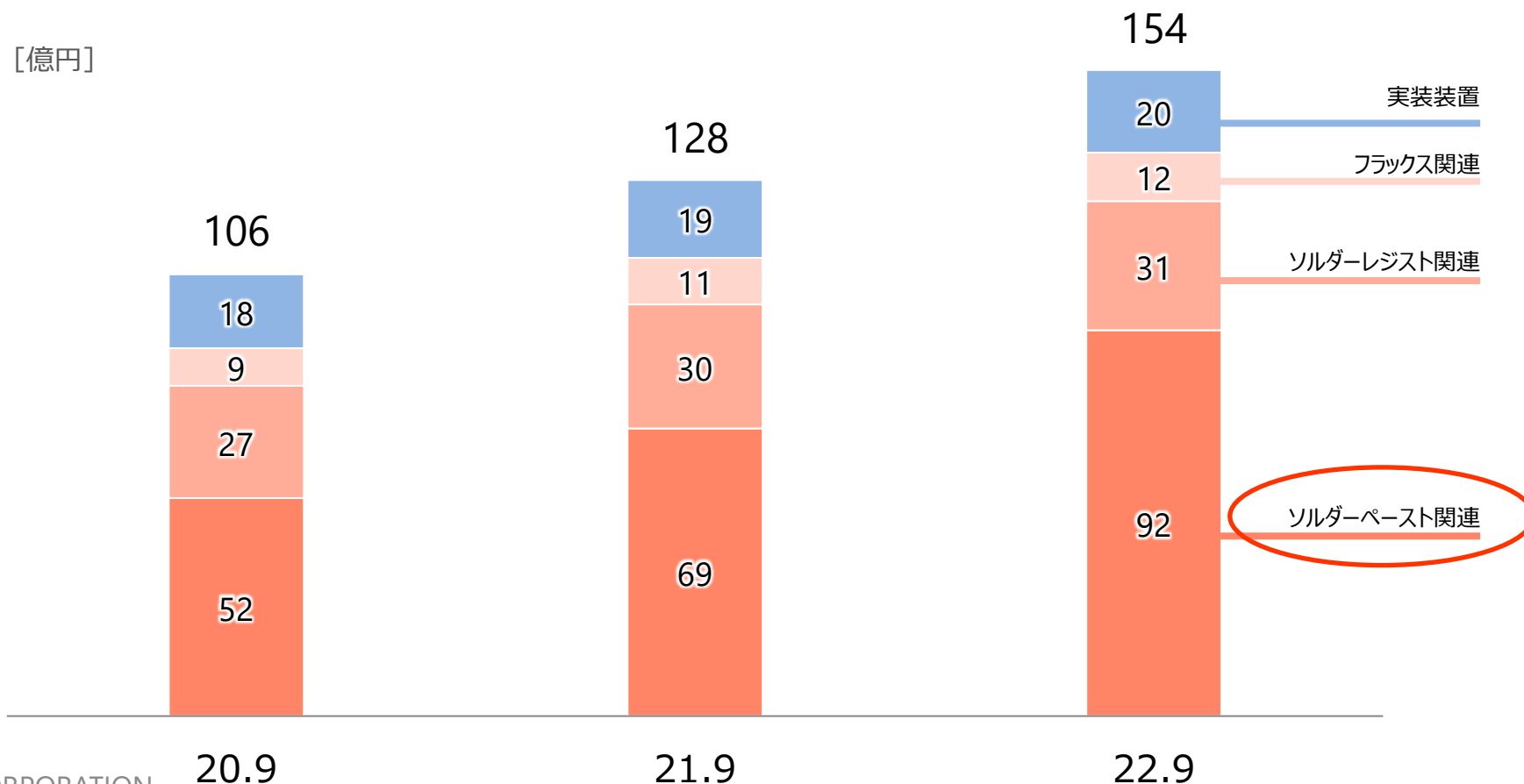


[億円]



【事業部門別】電子化学実装関連事業 製品別売上実績

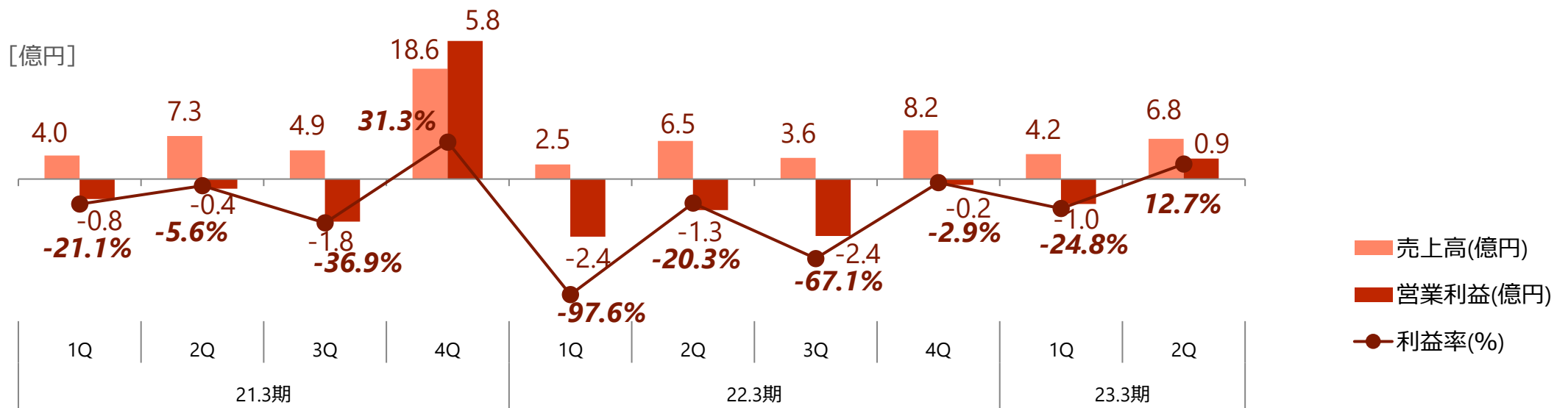
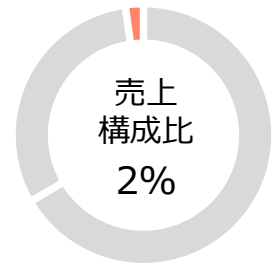
- ◆ ソルダーペーストの需要堅調で、中国のEV向けでも健闘。錫価格高騰に伴う価格改定努力、円安もあり増収
- ◆ スマートフォン向けソルダーレジストは、計画レベルで推移
- ◆ 実装装置は日系車載メーカー向けを中心に回復基調継続。自動車の電動化による需要本格化は今後



【事業部門別】情報機器関連事業 実績

◆ 次世代音声卓開発費用支出が概ね完了したこともあり、前期比収益が大幅改善

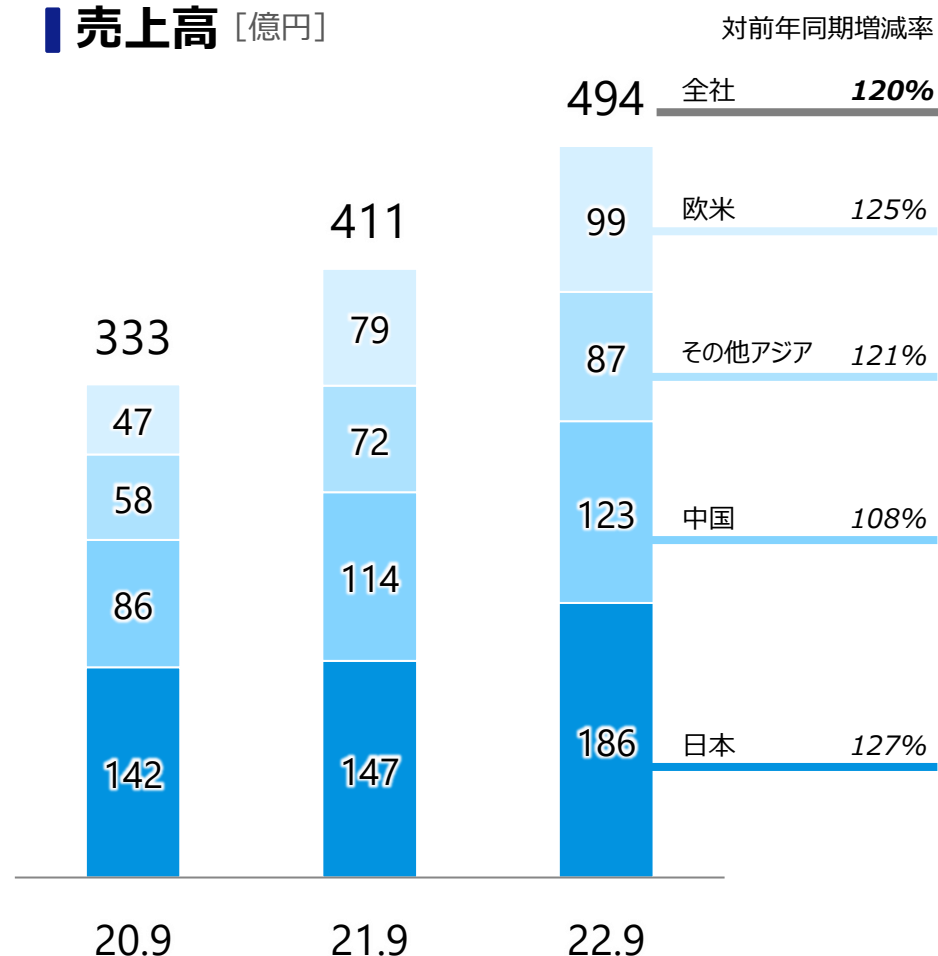
[百万円]	22.3期2Q		23.3期2Q		23.3期2Q 期初予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	895	▲20.4%	1,102	+23.1%	900
営業利益	▲374	-	▲18	-	▲100
営業利益率	▲41.8%	▲30.7pt	▲1.6%	+40.1pt	▲11.1%



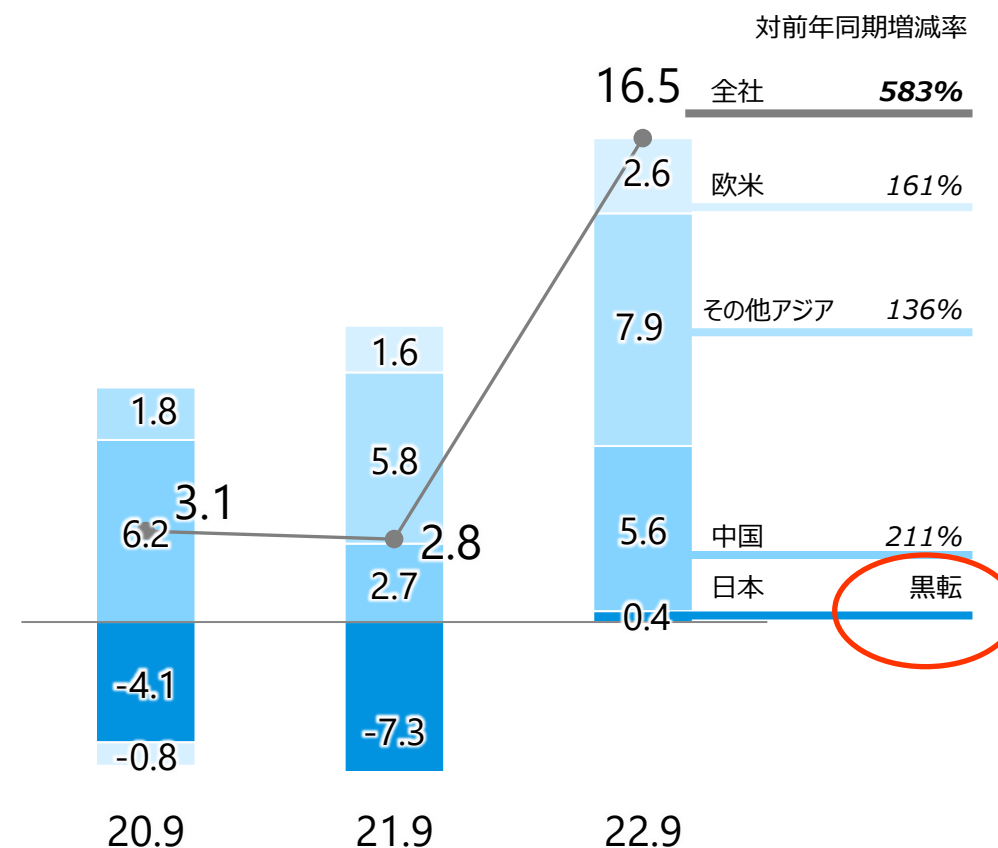
第2四半期 地域別売上高・営業利益

- ◆ 為替効果もあり、全地域で増収。営業利益も改善
- ◆ 日本は輸出品の円安効果や国内事業の回復で黒字転換

売上高 [億円]



営業利益 [億円]



2022年9月末 貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 長納期受注、部材確保、為替換算影響等により棚卸資産が増加。設備投資等では有形固定資産も増加
- ◆ 資産見直し・キャッシュ創出に注力中

[億円]

	22.3末	22.9末	増減額
現金・預金	137	135	▲2
売上債権	225	257	32
棚卸資産	221	273	52
有形固定資産	304	319	15
資産合計	1,041	1,144	104
仕入債務	133	147	14
有利子負債	312	358	46
純資産	502	543	41
負債・純資産合計	1,041	1,144	104

	21.9	22.9	増減額
営業CF	▲27	▲10	17
投資CF	▲22	▲12	10
財務CF	23	9	▲14

	22.3末	22.9末	増減
自己資本比率	48.0%	47.2%	▲0.8%

2. 2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期業績予想

- ◆ 需要の一時的減速など不透明な事業環境を想定
- ◆ 引き続き価格改定の浸透や生産改善を推進し、計画達成を目指す

[百万円]

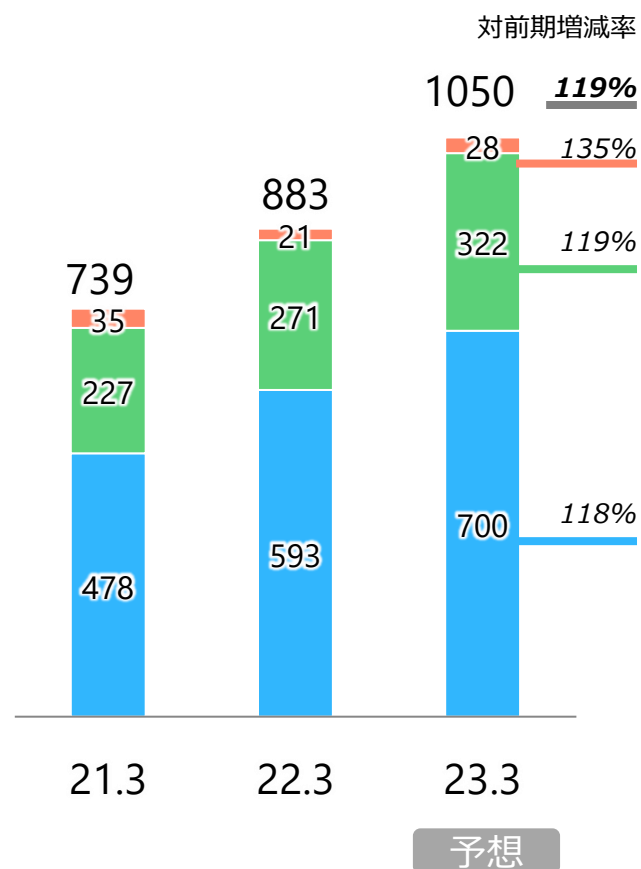
		2022.3期			2023.3期 (2022年9月26日公表)			2023.3期	
		実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比	22/5 予想	構成比
売上高		88,328	100.0%	+19.5%	105,000	100.0%	+18.9%	94,000	100.0%
営業利益		1,564	1.8%	▲20.5%	4,500	4.3%	+187.6%	3,000	3.2%
経常利益		2,001	2.3%	▲16.1%	3,900	3.7%	+94.9%	3,000	3.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益		▲84	-	赤転	2,700	2.6%	黒転	1,800	1.9%
為替 (円/米ドル)	期中平均	111.16		+5.73	135.00		+23.84	120.00	
	期末	122.39		+11.68	135.00		+12.61	120.00	
1株当たり配当		10.00円		+2.00円	10.00円		+0.00円	10.00円	
配当性向		-		-	32.6%		-	45.6%	
ROE		▲0.2%		▲1.4pt	5.1%		+5.3pt	3.6%	

2023年3月期 事業部門別通期業績予想

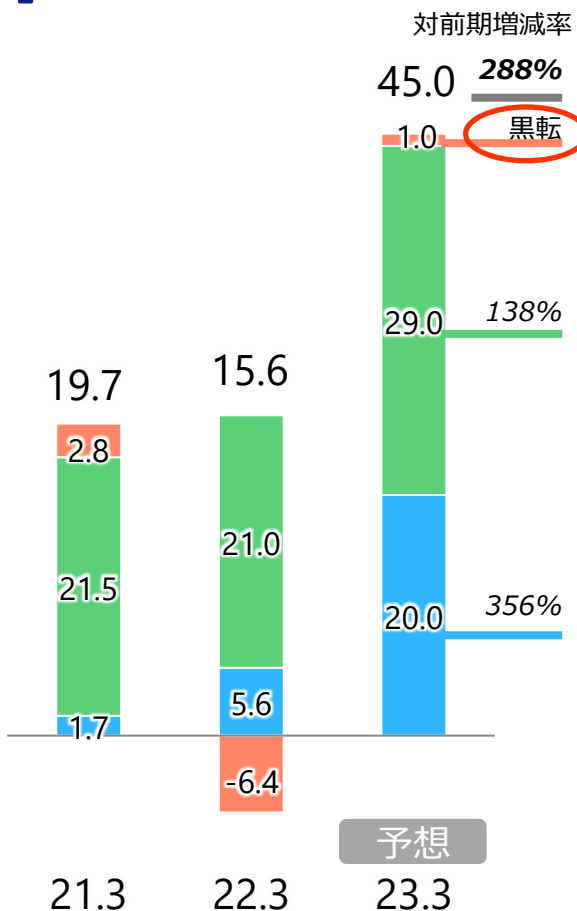
◆ 電子部品および電子化学実装は増収・増益基調を継続。情報機器は黒字転換

■ 電子部品関連
■ 電子化学実装関連
■ 情報機器関連
■ 全社

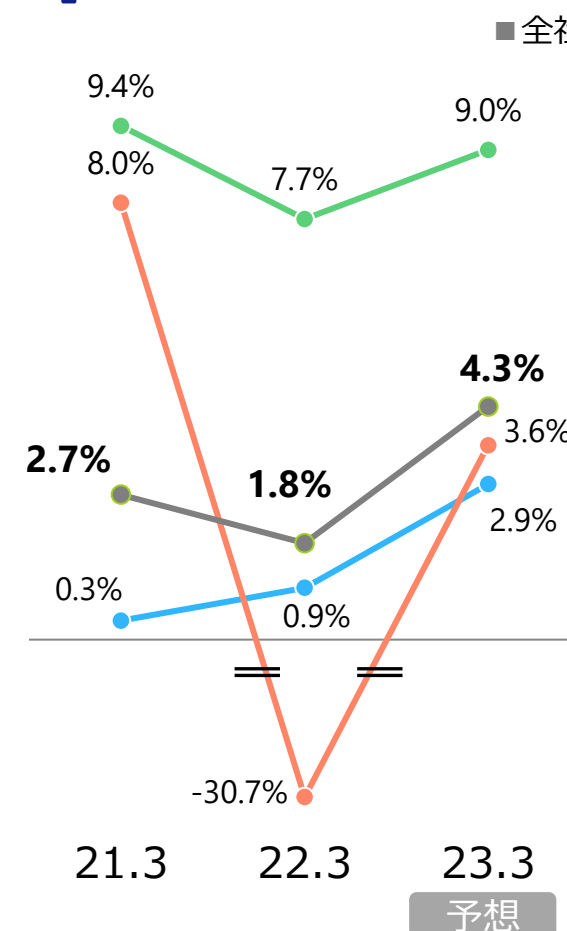
売上高



営業利益

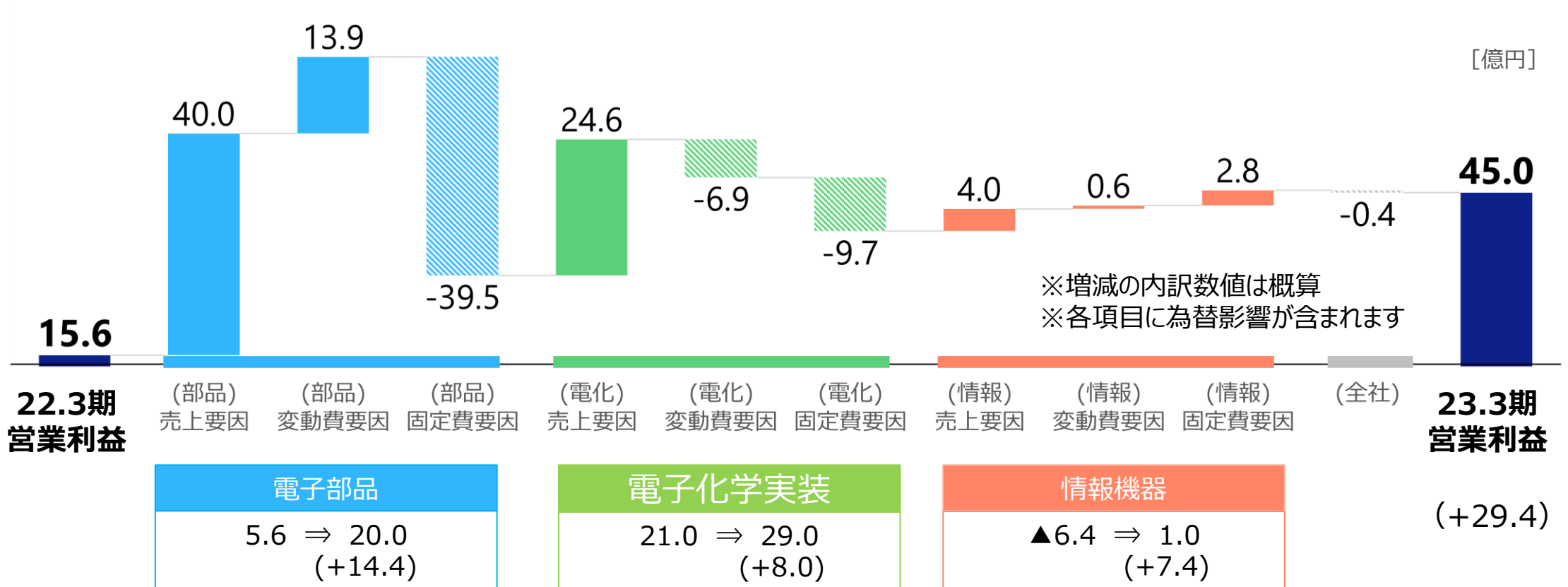


営業利益率



2023年3月期 通期営業利益 対前年増減 (売上・固定費・変動費要因による分析)

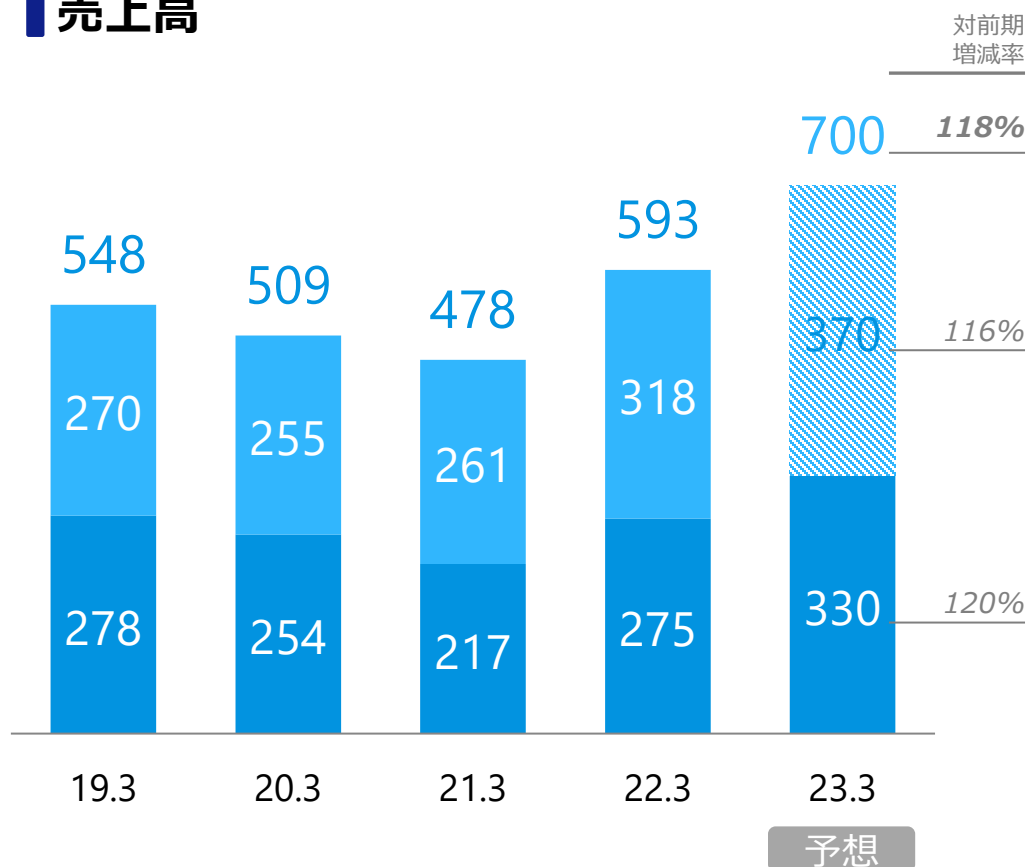
- ◆ 電子部品は価格改定が浸透して変動費改善に寄与するも、電子化学は改善に余地を残す
- ◆ 前期に実施した車載関連事業や中国拠点再編に伴う設備投資で、電子部品の固定費（減価償却費）増加
- ◆ 情報機器は次世代音声卓の開発が概ね完了して支出が減少



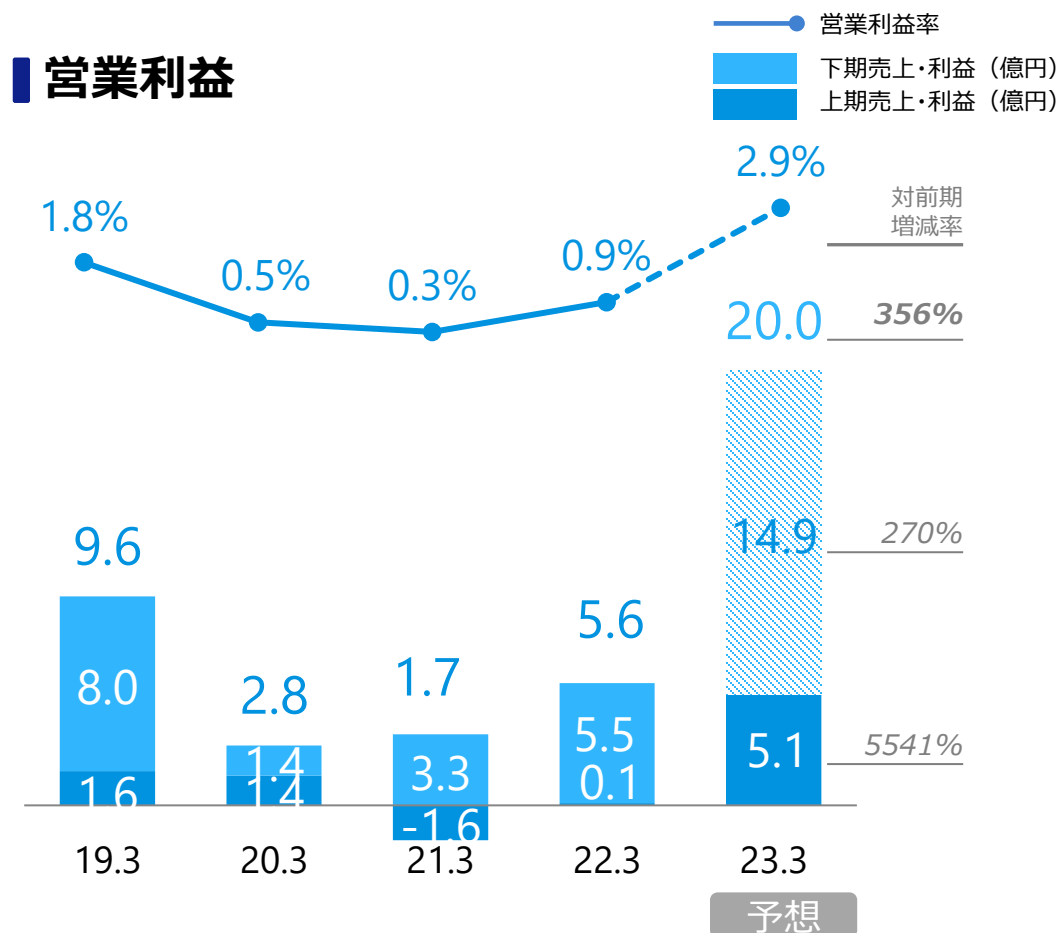
2023年3月期 電子部品関連事業 通期業績予想

- ◆ 下期は、海外を中心に上海ロックダウンなどのマイナス影響の低減と季節変動による増収を想定
- ◆ 引き続き市場連動による価格改定の浸透や、生産改善により増益を見込む

売上高



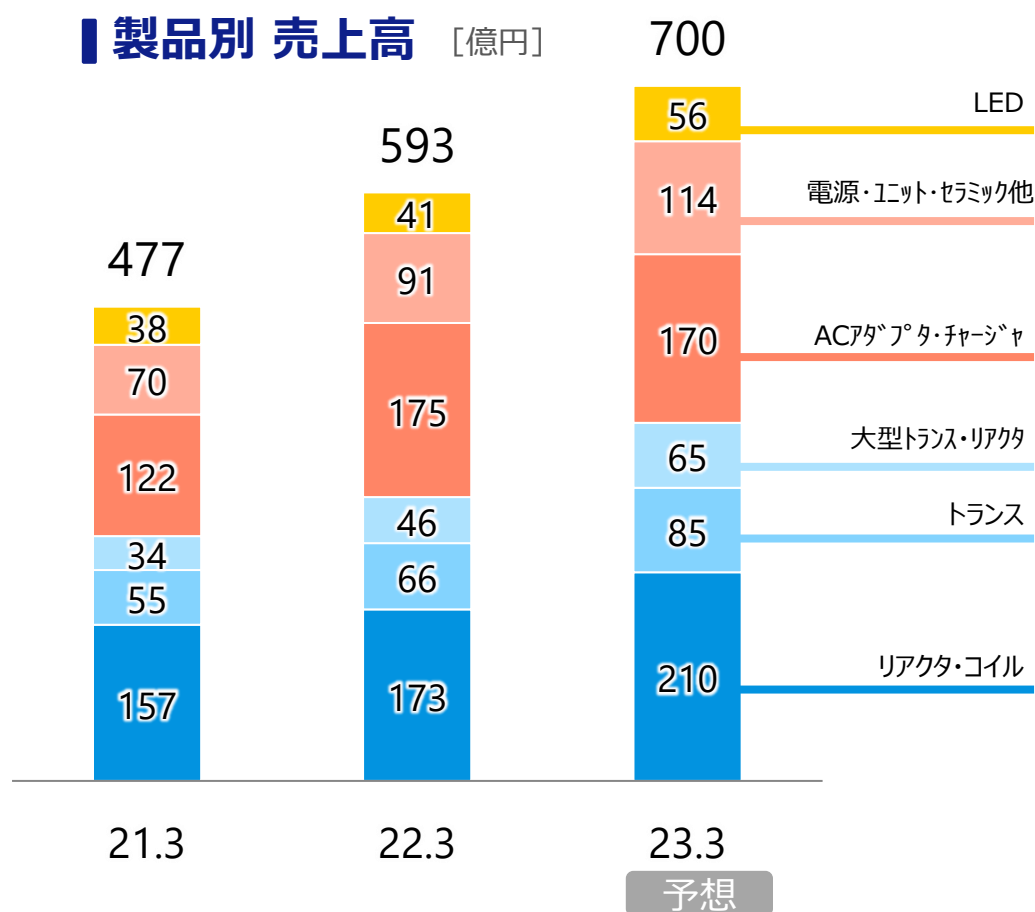
営業利益



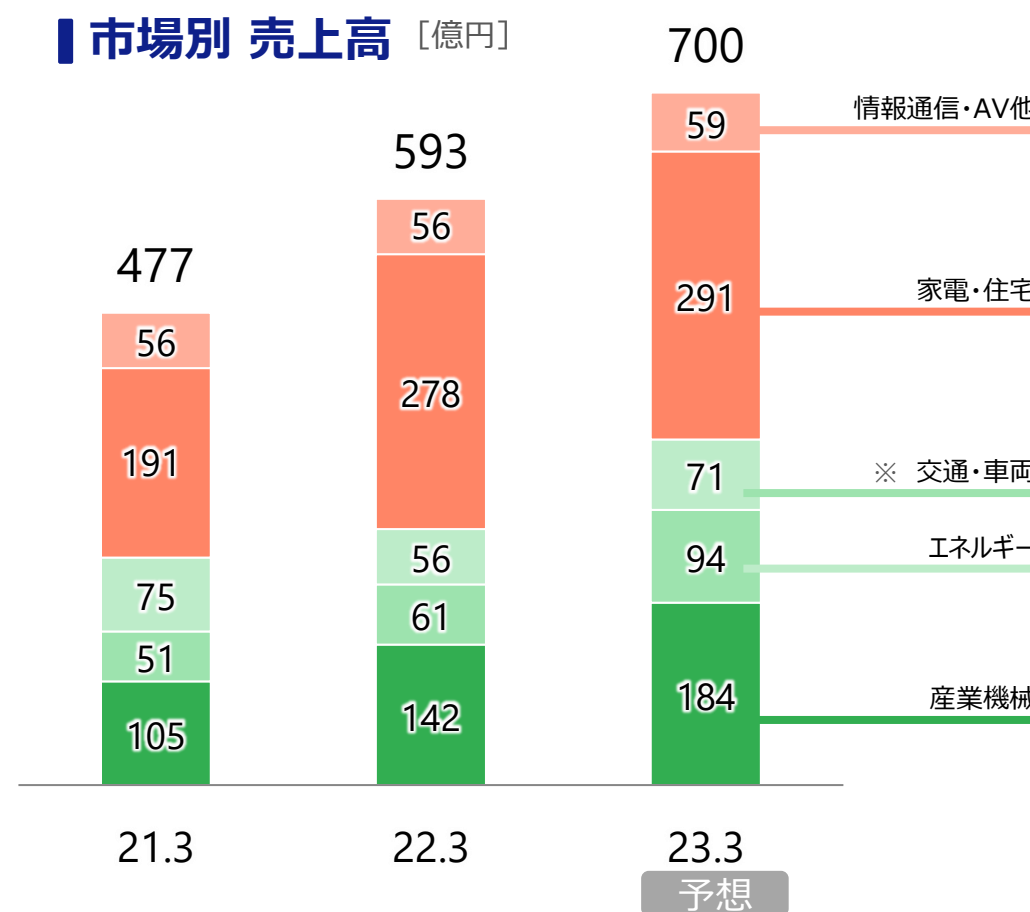
2023年3月期 電子部品関連事業 製品別・市場別 売上高予想

- ◆ 増加基調だった家電・住宅向けACアダプタ・チャージャは、需要一巡により一時的な減速を見込む
- ◆ エネルギー・大型トランスは、欧米中心に好調が継続
- ◆ LEDは、年度を通じて自販機ボタンがコロナ前レベルまで回復

製品別 売上高 [億円]



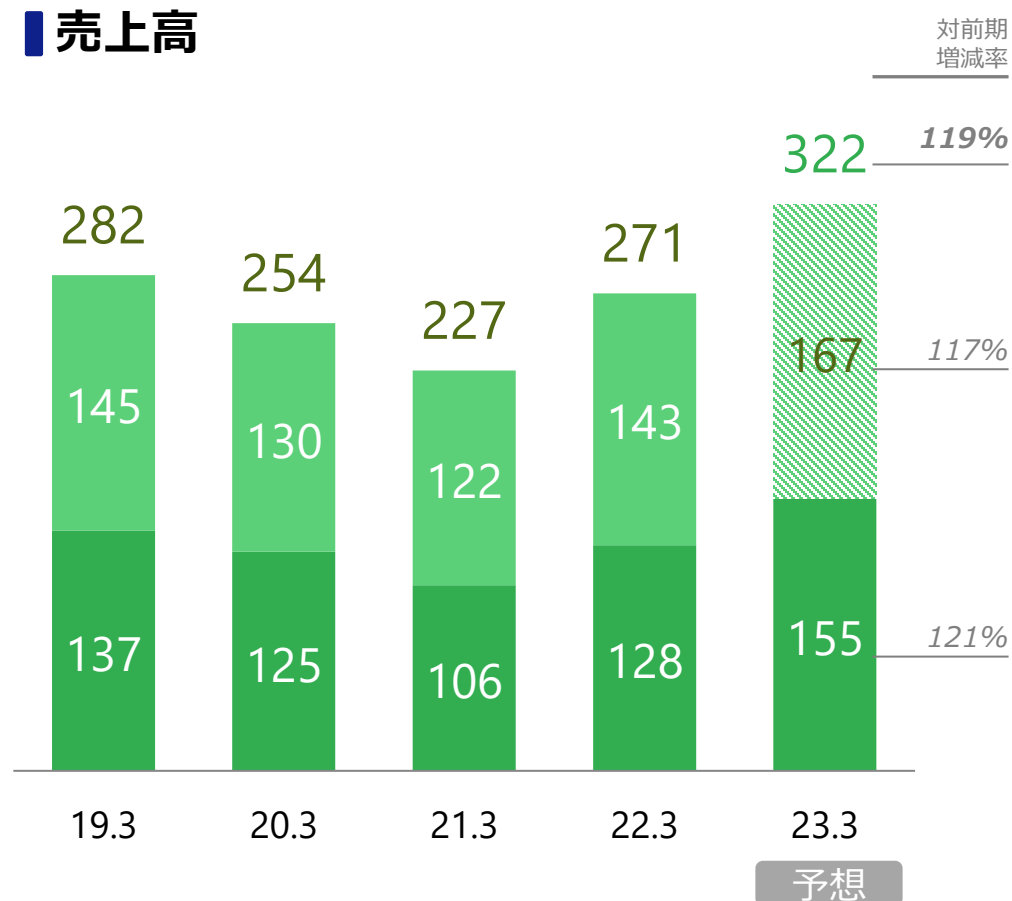
市場別 売上高 [億円]



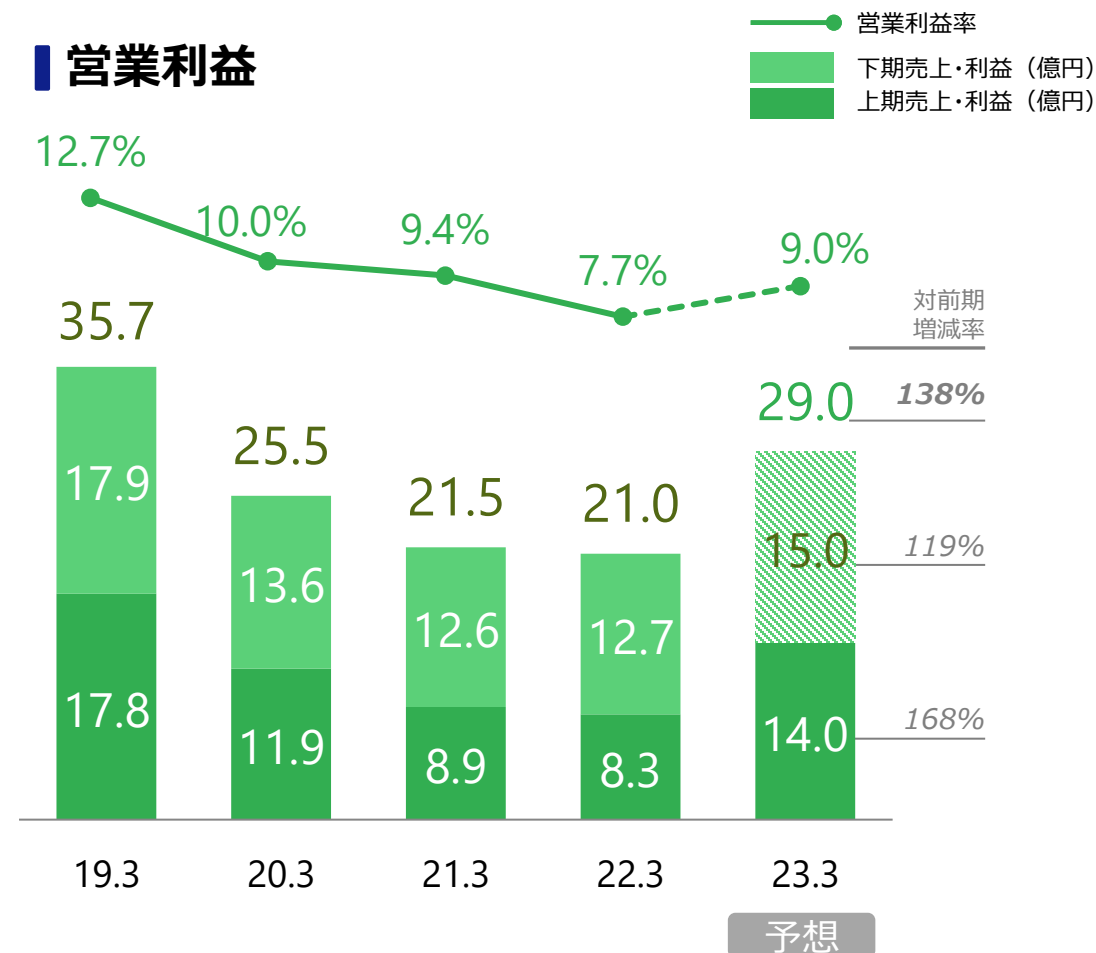
2023年3月期 電子化学実装関連事業 通期業績予想

◆ ソルダーペースト主原料の錫の価格下落は、在庫単価への反映までタイムラグがあり、利益回復への寄与はゆるやか

売上高

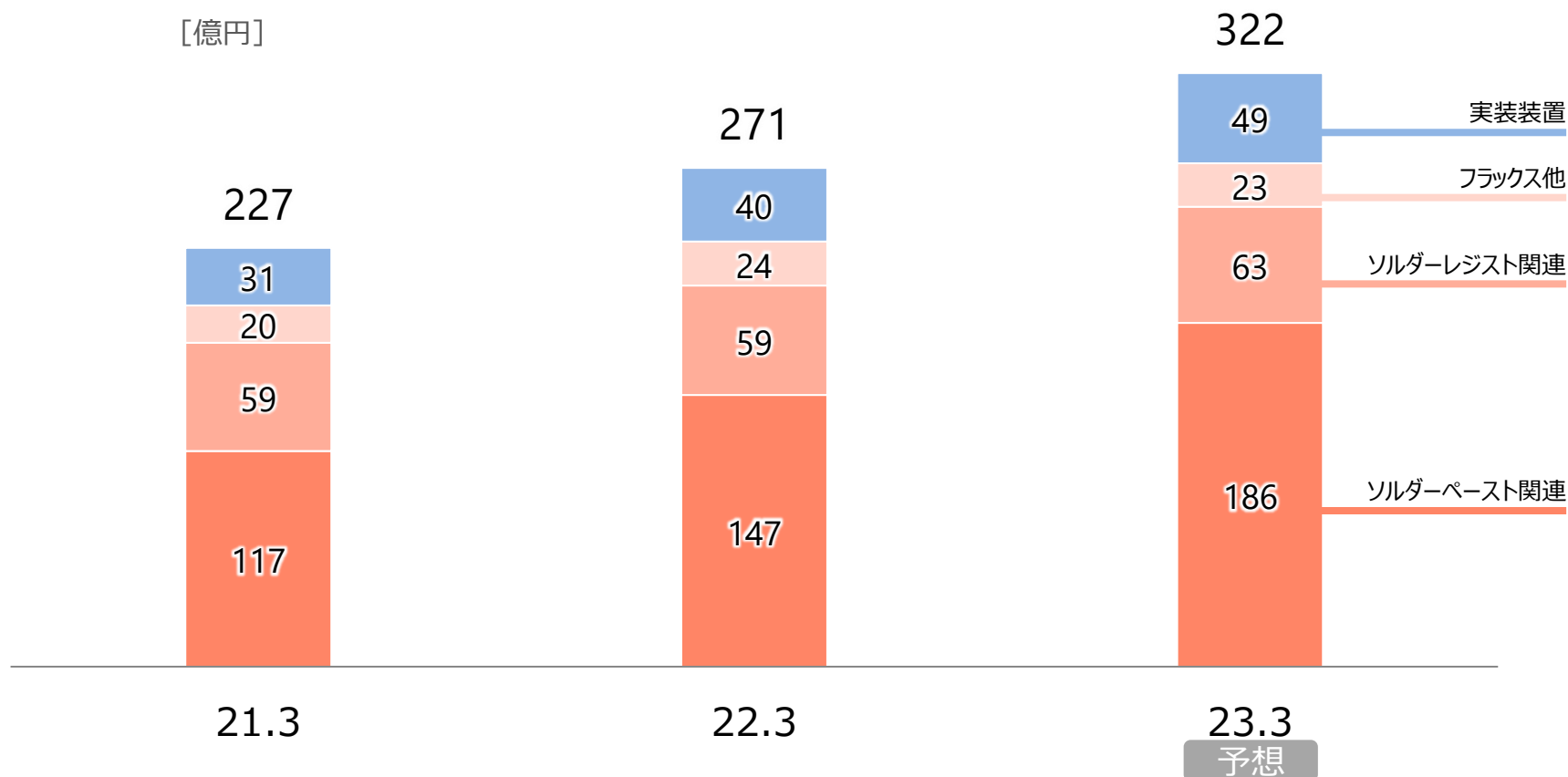


営業利益



2023年3月期 電子化学実装事業 製品別売上高予想

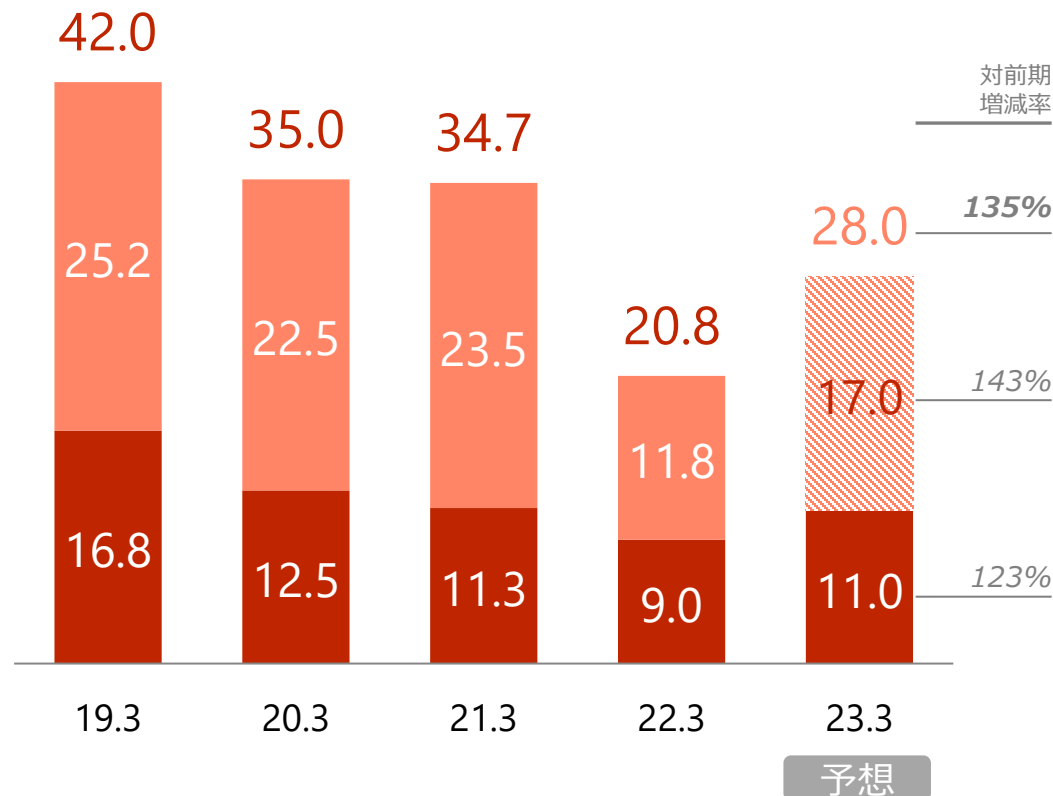
- ◆ ソルダーペーストの売上は、価格改定の反映や為替影響もあり大幅増
- ◆ 実装装置は、フルモデルチェンジした新型リフロー装置「TNUシリーズ」の本格的な拡販



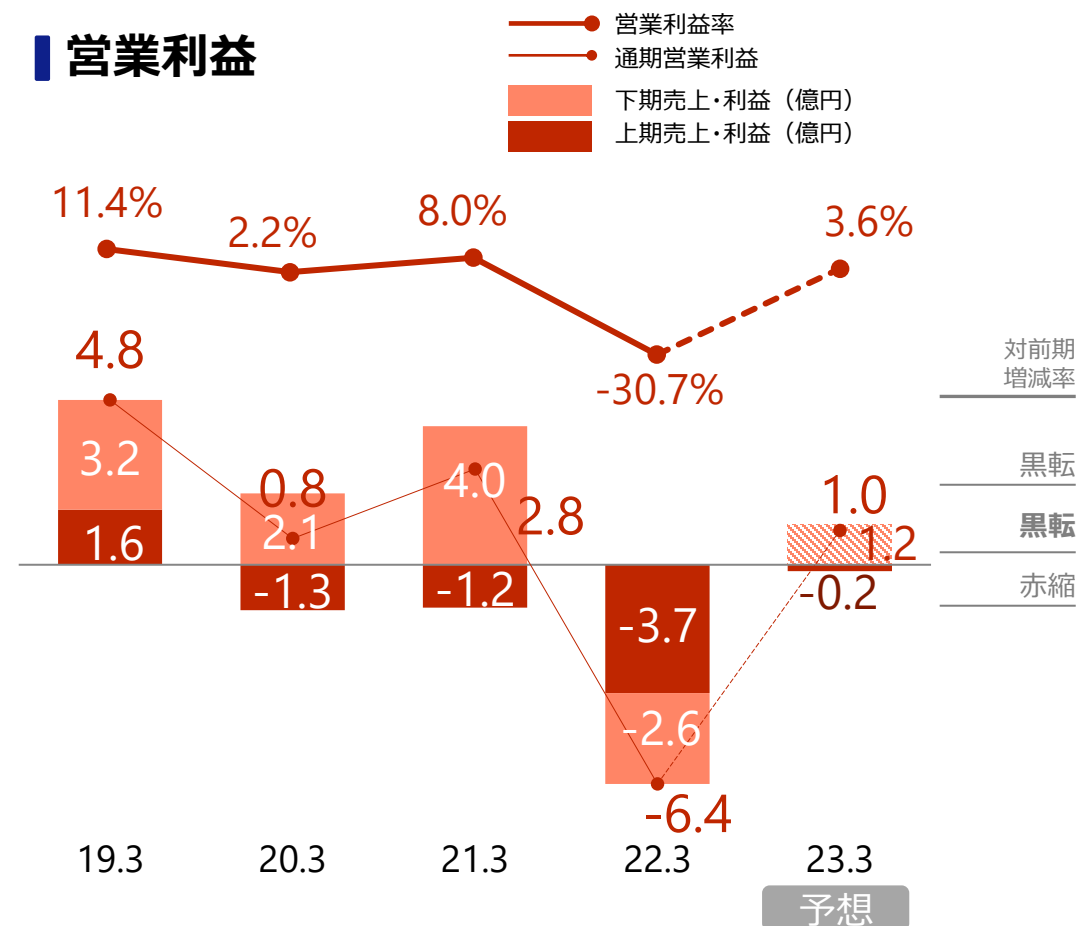
2023年3月期 情報機器関連事業 通期業績予想

- ◆ ネットワーク対応の最新型音声卓「NTXシリーズ」を、本格的に市場投入開始
- ◆ 通信事業者向けの監視装置の更新需要もあり、年間で黒字化を見込む

売上高

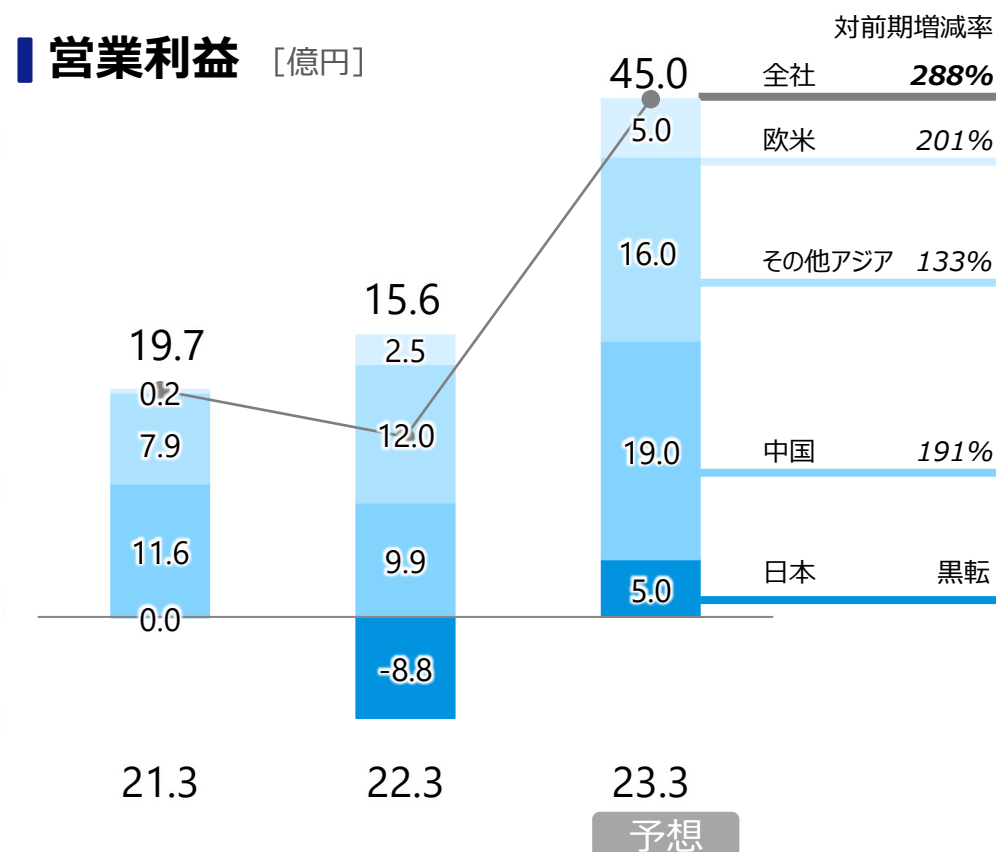
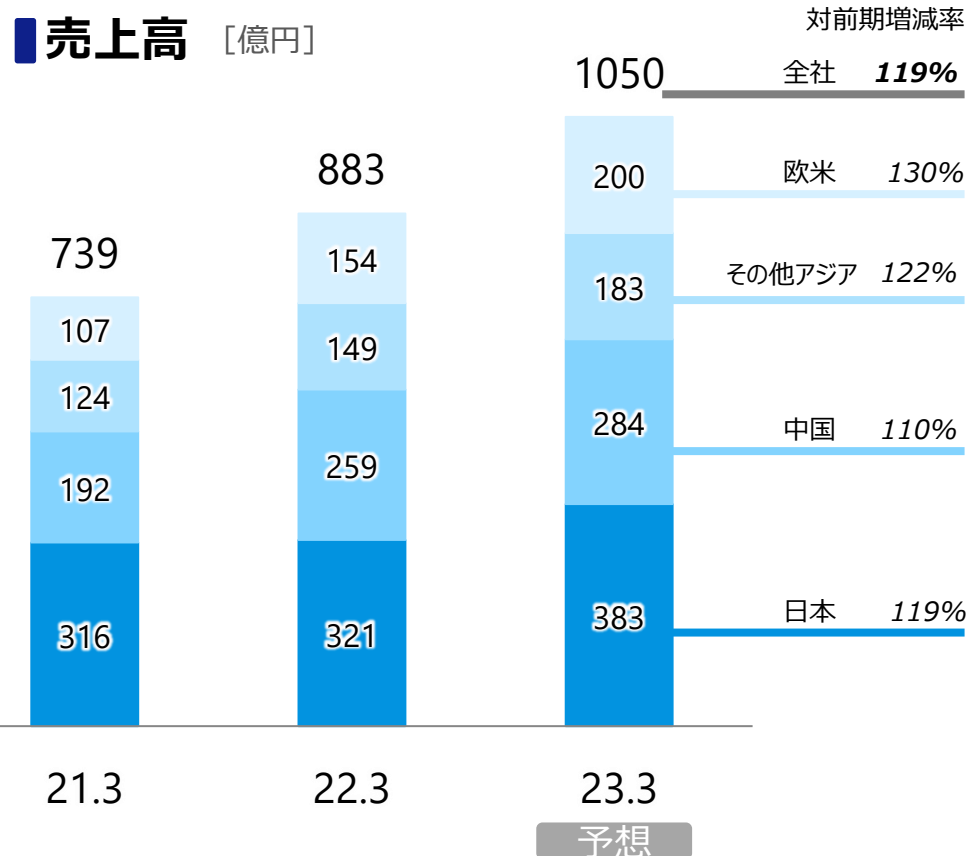


営業利益



2023年3月期通期 地域別売上高・営業利益予想

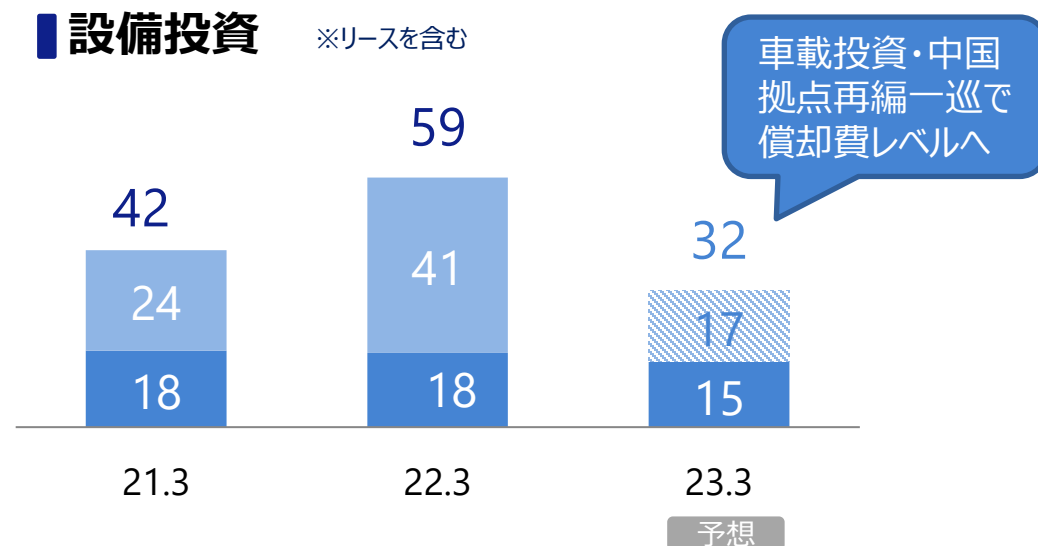
- ◆ 日本は、円安寄与や情報機器などの国内向け事業の回復で黒字転換。中国も改善基調明確に
- ◆ 欧米は、米国データセンター向け大型トランスの需要が増加。メキシコ生産の強化を進める



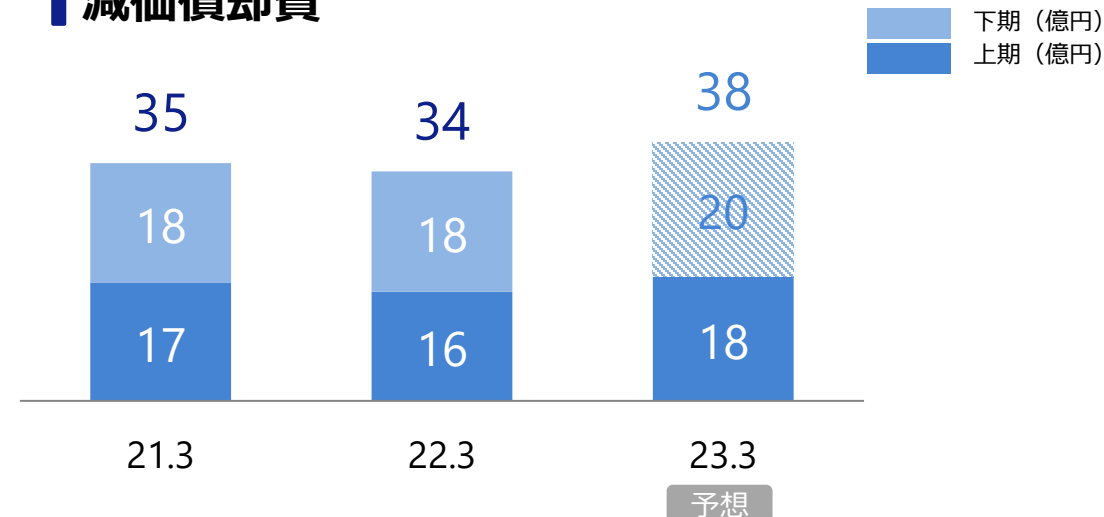
2023年3月期設備投資・減価償却費・研究開発投資予想

設備投資

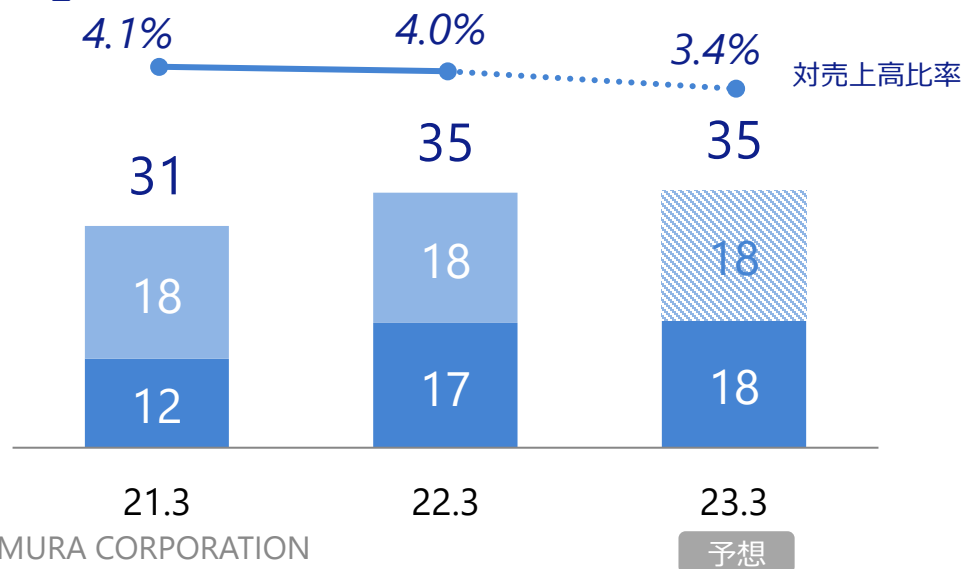
※リースを含む



減価償却費



研究開発関連費用



主な設備投資

- 電子部品: 車載向け生産設備増強
- 全社: 情報システム更新費用

主な開発投資

- 高耐圧・高周波対応ゲートドライバ、EMC性能強化電流センサ
- 高機能絶縁材開発
- 環境貢献型リフロー装置
- 次世代半導体利用高効率電源

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

3. 中期経営計画に基づく施策

カーボンニュートラルへの貢献を通じた事業成長

- ◆ カーボンニュートラルで成長する欧米市場を中心に、戦略製品展開の強化で事業成長を目指す
- ◆ パワーエレクトロニクス・モビリティ・IoTの3分野に注力し、事業部横断で新製品・新サービスを展開

カーボンニュートラルに貢献する事業領域

パワー エレクトロニクス



モビリティ



IoT



カーボンニュートラルへの貢献 ～北米市場展開

- ◆ 欧州市場で実績のある大型トランス・リアクタを北米・中南米市場に展開強化中
- ◆ カーボンニュートラル政策の推進で、アメリカ再エネ関連市場からの需要増加。メキシコ工場増設で対応

カーボンニュートラル市場

太陽光発電



風力発電



高圧直流送電 (HVDC)



データセンター (UPS・PDU)



北米・中南米市場展開



- 欧州発技術の大型トランス・リアクタの拡販
 - ・ 大規模風力発電設備
 - ・ 高圧直流送電(HVDC)
 - ・ データセンター
- ゲートドライバモジュール・電力センサとあわせて、顧客ニーズに応える
- メキシコ工場の大型トランス・リアクタ生産能力を1.5倍に増強
 - ・ 2023年立ち上げ予定

カーボンニュートラルへの貢献 ～リフロー装置のグローバル展開

- ◆ 非日系顧客のニーズに応えるべくフルモデルチェンジした、新型リフローはんだ付け装置の販売を開始
- ◆ 工場の自動化、省エネ化、生産効率向上に貢献し、カーボンニュートラルの実現に寄与

リフロー装置 新製品「TNU」



- 非日系顧客ニーズに応えるフレキシブルな機能設計
- 顧客の生産効率向上・省エネ貢献：機種切替時の温度変更時間が当社従来品比1/3
⇒待ち時間削減により工場全体の省エネに貢献
- IoT(BIG DATA)を活用した設備管理

グローバル展開推進



- グループネットワークを活かし、中国・ASEAN地域の顧客など各国に製品を展開
- 電子化学材料とともにメキシコショールームにデモ機を設置。欧米顧客の攻略につなげる

サステナビリティ戦略の推進

- ◆ マテリアリティを軸にサステナビリティ戦略を展開。働きがい改革で「人が憧れる会社」「人が集まる会社」を目指す
- ◆ カーボンニュートラルへの貢献に向け、22年上期はCO₂排出量の大幅削減やTCFDに基づく情報開示を実施

人材：働きがい改革推進

心理的安全性への取り組み

2019年より心理的安全性づくりの取り組み開始
「耳で聞き、頭でわかって、腹に落ち、そして体が動く」という行動変容を目指し、研修や定期サーベイの実施など種々の施策を組み立て

「人が憧れる会社」「人が集まる会社」を目指す



「心理的安全性AWARD2022」
ゴールドリング受賞

(主催：株式会社ZENTech)

脱炭素社会実現への貢献

- 国内主要5事業所で、非化石証書の活用により実質再生可能エネルギー由来の電力に切り替え。年間約8,000tのCO₂削減見込み



- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明。TCFDに基づく情報開示を開始

4. まとめ

まとめ

2023年3月期 第2四半期決算概要

- 主要顧客の堅調な需要、製品価格改定努力、生産効率改善などにより増収・増益
- 一部事業で上海ロックダウンの影響を受けたものの、全体では前期比増収増益基調を継続
- 第13次中期経営計画初年度として順調な滑り出し

2023年3月期 通期業績予想

- 電子部品および電子化学実装は増収・増益基調を継続。情報機器は黒字転換予想
- ただし、事業環境の不透明等を踏まえ、2022年9月26日に公表した最新業績予想を維持
- 製品価格改定の浸透や生産改善の継続、新製品の拡販などにより計画達成を目指す

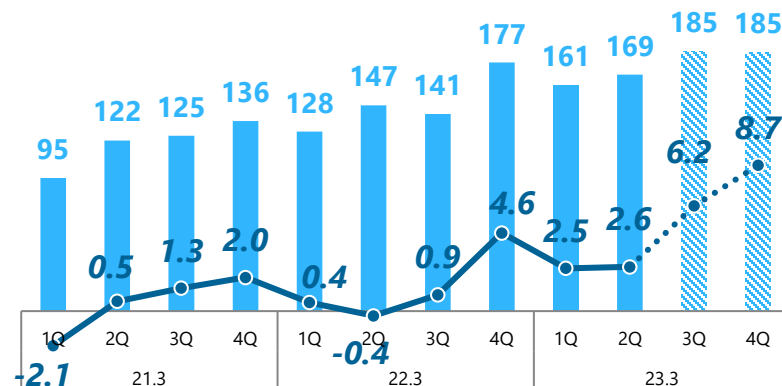
中期経営計画に基づく施策

- カーボンニュートラルで成長する欧米市場を中心に、戦略製品展開を強化で事業成長を目指す
- マテリアリティを軸にサステナビリティ戦略を展開

【付録】参考資料

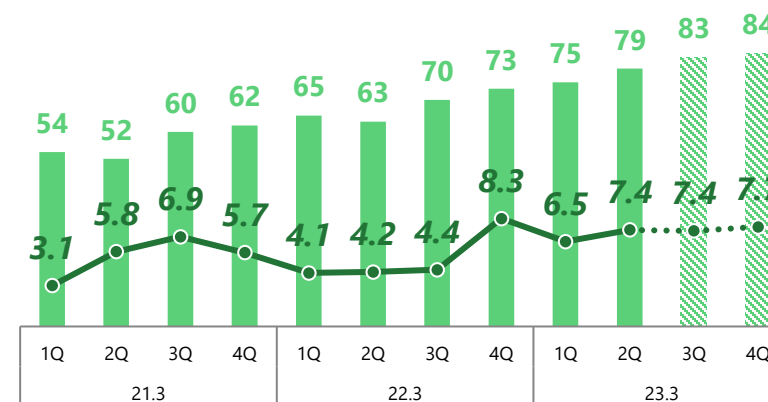
2023年3月期 事業部門別 売上高・利益予想（四半期推移）

電子部品

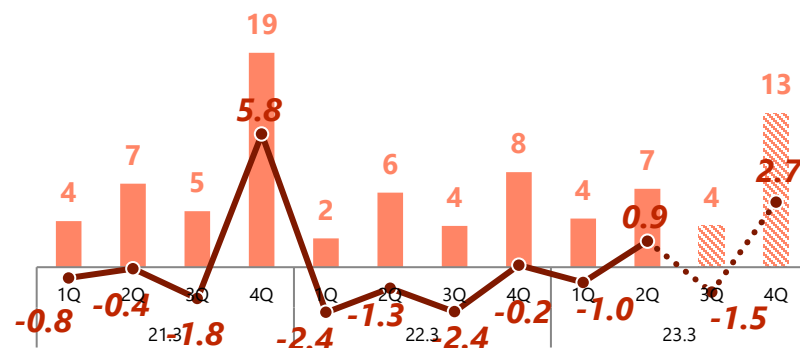


電子化学実装

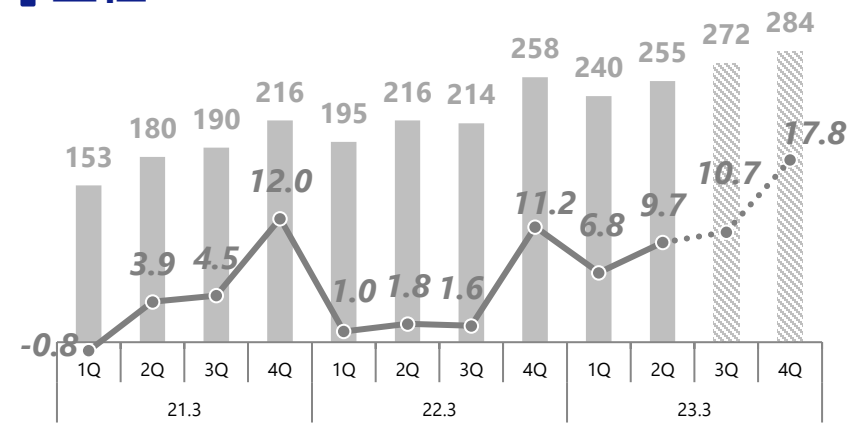
売上高(億円) 営業利益(億円)



情報機器



全社



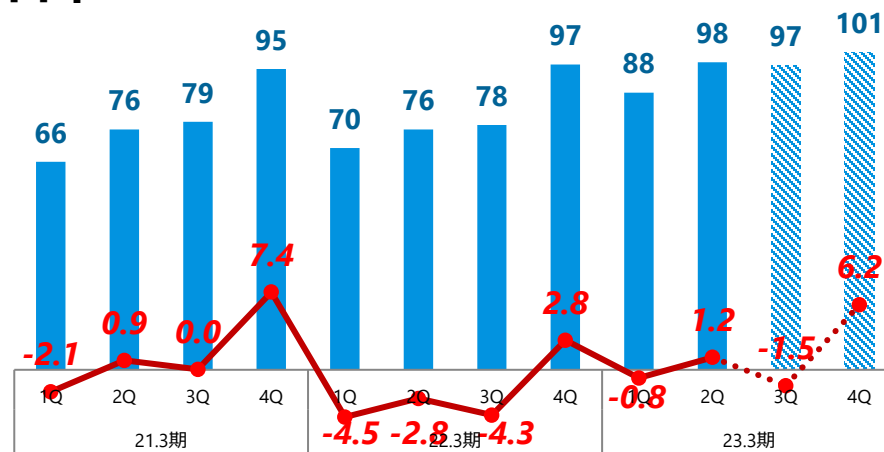
注：放送機器の売上は期末（2Q・4Q）に集中する傾向あり

2023年3月期 地域別 売上高・利益予想（四半期推移）

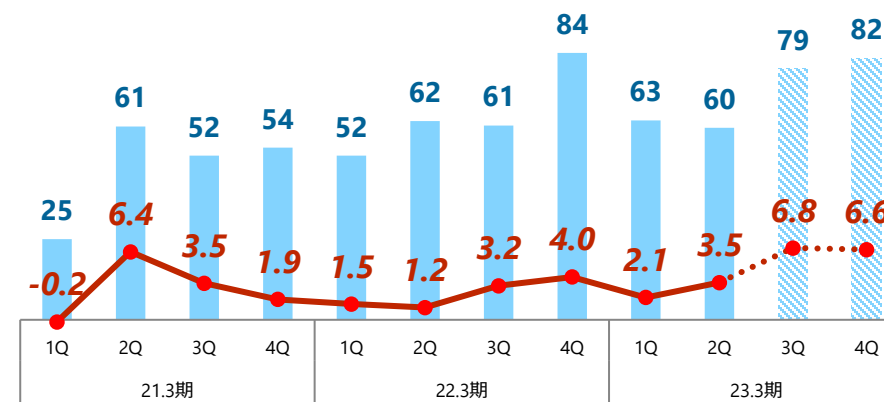
売上高(億円)

営業利益(億円)

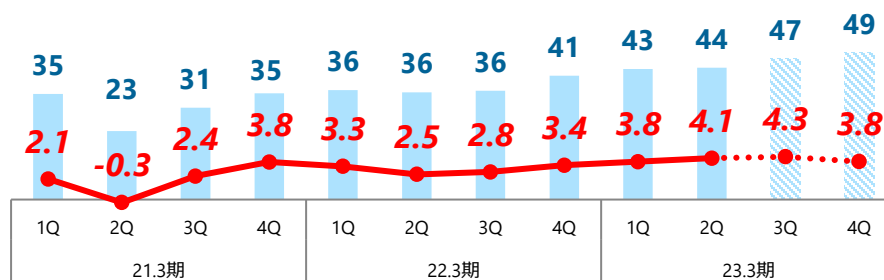
日本



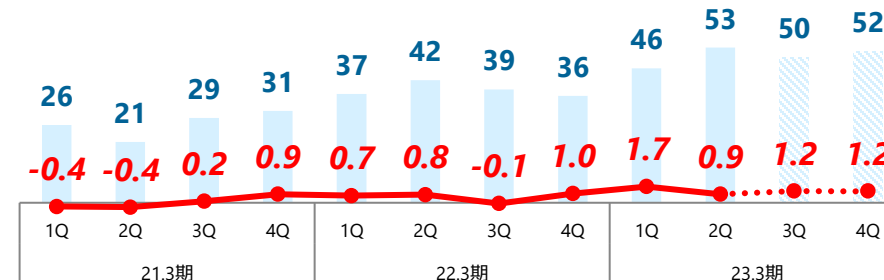
中国



その他アジア



欧米



次世代音声調整卓 NTXシリーズのご紹介

NTX series



□ フルIP対応音声調整卓

- 各装置レイアウトフリー
- リモートプロダクション
- リモートメンテナンス

□ 最新IPインターフェイス対応

- SMPTE ST2110
- AMWA
- NMOS

□ サーフフェイスサイズ

- NTX800
- NTX600
- NTX300

□ Inter BEE 2022（国際放送機器展）に出展いたします。

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2022

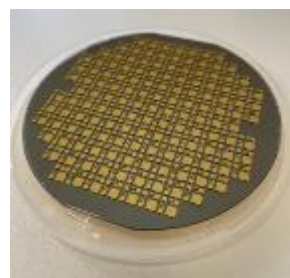
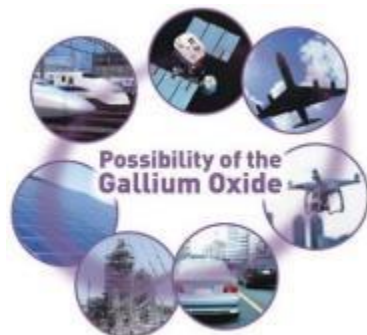
2022年
11月16日(水)～18日(金)

ホール5
Booth No.4105

カーボンニュートラルへの貢献 ～酸化ガリウムパワー半導体の研究開発

- ◆ タムラ製作所の研究開発部門が独立して設立された株式会社ノベルベルクリスタルテクノロジー（NCT）は、カーボンニュートラルへの貢献が期待される酸化ガリウムパワー半導体の研究開発を推進しています
- ◆ タムラは、NCTと接合材料や電源機器などの共同開発を進め、中長期的視点で共に成長を目指しています

酸化ガリウムパワー半導体 研究開発



タムラとNCTの取り組み



- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション



- 酸化ガリウム基板
およびパワーデバイスの
製品化・製造販売

- 酸化ガリウム：SiCやGaNを越える高性能とコスト競争力が期待されているパワー半導体
 - 研究開発チーム：NCT、タムラ製作所、情報通信研究機構、東京農工大学を中心とするチームで世界をリード
 - NCT：タムラ製作所の持分法非適用関連会社（出資比率は約40%）。外部資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発と事業化推進を行うため2015年に設立
- [NCTによる最近の研究開発成果]
- 2022年 9月：世界初、酸化ガリウム反転型DI-MOSTランジスタを試作
 - 2022年 3月：キラー欠陥を従来の10分の1に低減した 第3世代酸化ガリウム100mmエピウエハの開発に成功
 - 2022年 3月：世界初、HVPE法で6インチウエハ上への酸化ガリウム成膜に成功

会社概要

本社：東京都練馬区
資本金：11,829百万円
連結従業員数：4,405名
連結売上高：88,328百万円
東証プライム市場上場
代表取締役社長：浅田昌弘



あなたの街のタムラ

航空・宇宙で
航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性で社会に貢献しています。
トランス・リアクタ

灯台で
送電線などで高い信頼性が求められる灯台の光源を省エネルギー化、長寿命化し、メンテナンス性を向上します。
パワーLED

駅で
発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。
LED式電光掲示板
専用ワイヤレスマイクホン

コンビニや店舗で
店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。
看板用LED照明
ショーケース用LED照明

通信基地局で
通信基地局用の信頼に欠かせない材料として、デジタル通信システムを支えています。
ソルダーレジスト
ソルダーペースト

放送局で
視聴者に届ける音声を清潔する発音と、画内連絡用の無線システムです。
音声調整機
DICT規格インターカム
ポータブルミキサー

街の自動販売機で
表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。
商品選択ボタン
金額表示器

エコカーで
高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。
車載用リアクタ・コイル
糸はんだ・棒はんだ
ソルダーレジスト
ソルダーペースト

風力・太陽光発電・インフラで
再生可能エネルギーの発電や高圧送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。
大型トランス・リアクタ
電流センサ
ゲートドライバモジュール
電源モジュール
導電性接着材
白色反射材
フラックス

工場で
ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。
電流センサ
ゲートドライバモジュール
電源モジュール
トランス・リアクタ
はんこ付装置

家庭で
エアコンやパワコンの省エネに寄与する部品、室内で人の活動状況や快適性を検知するセンサです。
電流センサ
電源モジュール
リアクタ
人感センサ
温度湿度センサ

スマートフォンやタブレットPCで
多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。
PAF
フレキシブル基板向けソルダーレジスト
低アルファ値ソルダーペースト
Type 6ソルダーペースト
黒色導電材
導電性接着材カバレイ
コートフィルム・おむす

当社からのお願い

本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所
コーポレートコミュニケーション統括部 広報・IRグループ